

作成日 2018/02/02

改訂日 2026/01/01

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 ギガウォッシュ  
供給者の会社名称 ユニソル株式会社  
住所 大阪市中央区南新町2-2-5  
電話番号 (06)6910-4470  
FAX番号 (06)6946-9779  
推奨用途 洗濯用合成洗剤(綿・麻・合成繊維用)  
使用上の制限 推奨用途以外でのご使用はご遠慮ください。

## 2. 危険有害性の要約

## 化学品のGHS分類

健康有害性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1  
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

## GHSラベル要素

## 絵表示



注意喚起語  
危険有害性情報  
注意書き

危険  
H318 重篤な眼の損傷

## 安全対策

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
(P280)

## 応急措置

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

直ちに医師に連絡すること。(P310)

## 3. 組成及び成分情報

## 化学物質・混合物の区別

## 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
ポリ(オキシアルキレン)＝アルキルエーテル	35%	－	あり	既存(非公開)	あり
エチレンジアミン四酢酸4ナトリウム	1.0	C10H12N2Na4O8	(2)-1265	既存	64-02-8
サチライシン(酵素)	<0.1	－	不明	11-(2)-226,11-(2)-227,11-(2)-247,11-(2)-270	9014-01-1
プロピレングリコール	<0.1	C3H8O2	(2)-234	既存	57-55-6
防腐剤	<0.1	非公開	非公開	既存	非公開
水	残分	H2O	不明	不明	7732-18-5

## 4. 応急措置

## 吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合		皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合		直ちに医師に連絡すること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合		口をすすぐこと。 飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。
5. 火災時の措置		
適切な消火剤		この製品自体は、燃焼しない。
使ってはならない消火剤		情報なし
火災時の特有の危険有害性		燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
特有の消火方法		消火作業は、風上から行う。 周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置		関係者以外は安全な場所に退去させる。 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置		作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。 必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材		漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。  少量の場合、吸着剤(土・砂など)で吸着させ取り除いた後、残りを大量の水で洗い流す。 盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。 必要があれば希塩酸、希硫酸などで中和する。 中和の際は、発熱、発煙などに注意する。
二次災害の防止策		付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。 漏出物の上をむやみに歩かない。
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
保管	安全取扱注意事項 接触回避 安全な保管条件	保護眼鏡、保護面を着用すること。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 換気の良い場所で保管すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
サチライシン(酵素)	未設定	未設定	設定あり

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値/天井値
サチライシン(酵素)	未設定	未設定

許容濃度(ACGIH)参照先: <https://www.acgih.org/>

## 設備対策

蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

## 保護具

## 呼吸用保護具

リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な呼吸用保護具を選択し、着用すること。

## 手の保護具

リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護手袋を選択し、着用すること。

## 眼、顔面の保護具

リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な眼および顔面の保護具を選択し、着用すること。

## 皮膚及び身体の保護具

リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護衣、履物を選択し、着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 物理状態

液体

## 形状

液体

## 色

無色~淡黄色糖透明

## 臭い

わずかに特異臭

## 融点/凝固点

データなし

## 沸点又は初留点及び沸点範囲

データなし

## 可燃性

該当しない

爆発下限及び爆発上限 下限  
/可燃限界

データなし

## 上限

データなし

## 引火点

引火せず

## 自然発火点

データなし

## 分解温度

データなし

## pH

10.2(代表値)

## 動粘性率

データなし

## 溶解度

データなし

## n-オクタノール/水分配係数

水と任意の割合で混合する。

## 蒸気圧

データなし

## 密度及び/又は相対密度

1.02(代表値)

## 相対ガス密度

データなし

## 粒子特性

該当しない

## 10. 安定性及び反応性

## 反応性

通常の条件では安定。

## 化学的安定性

通常の取扱条件において安定である。

## 危険有害反応可能性

強酸化剤との接触を避けること。

## 避けるべき条件

高温(40℃以上)になる場所、直射日光の当たる場所、凍結のおそれのある場所で保管しないこと。

## 混触危険物質

ハロゲン類、強酸類、酸化性物質と接触しないよう注意すること。

## 危険有害な分解生成物

現在のところ有用な情報なし。

## 11. 有害性情報

## 急性毒性

経口

急性毒性推定値が72453.5912832mg/kgのため区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

経皮

急性毒性推定値が7868125mg/kgのため区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

吸入

(気体)

GHS定義による気体ではない。

(蒸気)

急性毒性推定値が50000ppm超のため区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

(粉じん・ミスト)

急性毒性推定値が95.2878851mg/lのため区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

## 皮膚腐食性／皮膚刺激性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

眼に対する重篤な損傷性／  
眼刺激性

眼区分1の成分合計が35.02%のため、区分1とした。

## 呼吸器感作性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

## 皮膚感作性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

## 生殖細胞変異原性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

## 発がん性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

## 生殖毒性

(生殖毒性)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

(生殖毒性・授乳影響)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 ※区分2(全身毒性)は1%含まれる。
誤えん有害性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
誤えん有害性	動粘性率が不明のため、分類できないとした。
12. 環境影響情報	
水生環境有害性 短期(急性)	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が2%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
水生環境有害性 長期(慢性)	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が2%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生態毒性 残留性・分解性 生体蓄積性 土壤中の移動性 オゾン層への有害性	データなし データなし データなし データなし データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
汚染容器及び包装	内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意	
国際規制	海上規制情報 Marine Pollutant Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code 非該当 Not applicable Not applicable
国内規制	航空規制情報 陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質 非該当 非該当 非該当 非該当 非該当
緊急時応急措置指針番号	航空規制情報 非該当 なし

## 15. 適用法令

労働安全衛生法

労働安全衛生法(表示・通知  
対象物質、がん原性物質)  
(令和8年施行分)

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1  
項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表  
第2)

エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第  
1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条  
の2別表第2)エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム(安衛則別表第2  
の番号:275)(5%未満)(営業秘密)労働安全衛生法(表示・通知  
対象物質、がん原性物質)  
(令和9年施行分)名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1  
項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表  
第2)

エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第  
1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条  
の2別表第2)エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム(安衛則別表第2  
の番号:275)(5%未満)(営業秘密)

毒物及び劇物取締法

化学物質排出把握管理促進  
法(PRTR法)

非該当

第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表  
第1)エチレンジアミン四酢酸並びにそのカリウム塩及びナ  
トリウム塩(管理番号:595)(1.0%)

消防法

非該当

## 16. その他の情報

参考文献

原料メーカーSDS

独立行政法人 製品評価技術基盤機構「化学物質総合情  
報提供システム」データベース(CHRIP)厚生労働省 職場のあんぜんサイト「GHS対応モデル  
SDS」

その他

記載内容の取扱い

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりま  
すが、記載のデータの評価に関しては必ずしも安全性を  
十分に保証するものではありません。ご使用者各位の責  
任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いし  
ます。また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたもの  
ですので、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・  
用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。ま  
た、記載内容は新しい知見などにより予告なく改訂するこ  
とがあります。